

川喜多長政 映画企業経営者。妻とともに、戦前からの映画の洋画輸入や戦後の邦画国際化に貢献。

かわきたながまさ

日比谷公園・1903 =

東京で、陸軍大尉川喜多大治郎の次男に生まれる。母はこう。

日露戦争に従軍した父は戦死した大隊長に代わって指揮をとり、激戦を戦い抜いて、

日露戦争終・1905 = 2歳：戦後、父は金鷄勲章。

満鉄発足・1906 = 3歳：この年、父が清国の北洋軍官学校に高等兵学教官として招聘されて、北京に赴任。

アヲヲ 創刊・1908 = 5歳：この年、北京の知人宅で病臥していた父が、日本公使館付憲兵に射殺されるも、真相は伏せられ、

明治天皇没・1912 = 9歳：

原敬首相暗殺1921 = 18歳：

水平社結成・1922 = 19歳：東京府立四中を卒業すると、北京大学文学部に入学、

関東大震災・1923 = 20歳：中退し、ドイツに留学し、

共産党事件・1928 = 25歳：*帰国。映画会社ウーファアの代理人を経て、欧州映画輸入を業とする東和商事合資会社を設立、

世界恐慌・1929 = 26歳：この年、入社してきた竹内かしこと結婚。

海軍軍縮条約1930 = 27歳：

満州事変・1931 = 28歳：

以後、妻とともに毎年渡欧し、優秀映画の見聞と選抜購入に努めたので、その輸入作品は常に高雅な世界的第一級の世評を得る。

日中戦争始・1937 = 34歳：

第二次大戦始1939 = 36歳：*陸軍から依頼され、中国の日本支配地域での映画配給会社の代表となる。日中合併の中華電影が設立されると、専務となり、張善琨をトップに据えて、江精衛らと、上海・南京の国民映画工作を推進。

日米開戦・1941 = 38歳：南京の総司令部から国策に沿う映画制作の圧力をしのいで、中国人スタッフを護って行くが、

年金+総武装 1944 = 41歳：張が憲兵に拘束され、何とか釈放させるも、張は重慶へ脱出、

敗戦・1945 = 42歳：敗戦後、家族を先に帰国させ、上海で残務整理、処刑されそうになった山口淑子を救済し、

新憲法公布・1946 = 43歳：ともに帰国。

新憲法施行・1947 = 44歳：公職追放になるが、

極東裁判決・1948 = 45歳：

世界中のユダヤ人や中国人らの弁護の声明が届いて、

朝鮮戦争始・1950 = 47歳：解除となり、

独立回復・1951 = 48歳：*東和商事の業務を復活して東和映画を創立し、ベネチア国際映画祭に、黒澤明の「羅生門」を参加させて、グランプリとなったのを皮切りに、

各映画祭で日本映画を受賞させ、各国の知名文化人と交わり、日本映画の海外輸出と名声の発揚に多くの具体的な活路を拓く。

なべ底不況・1957 = 54歳：

安保闘争・1960 = 57歳：

東京初ルック 1964 = 61歳：藍綬褒章。

いざなぎ景気1966 = 63歳：

石油ショック1973 = 70歳：勲二等瑞宝章。フランスのレジオン・ドヌール勲章、イタリアのコメンダトーレ勲章など、受勲多数。

アラブ・オイル事件1975 = 72歳：東宝東和と改称し、

・・・・・・1981 = 78歳：肝硬変で没した。

インターネット、